

令和5年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

森山町小学校	読む力・話す力向上推進校	教科一般
--------	--------------	------

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点 かかわり合いを通じた読む力・話す力の育成

- ・根拠を明確にして考えをもつための工夫（根拠に印をつけ、根拠をもとに考える）
- ・個々の考えをつなげて深めるための工夫（交流を通して根拠を関連づけて深める）

(2) 重点にせまるための具体的な取組

- ・低中高分科会で話し合い、目指すゴールの姿を明確にして「重点(ゴール)にせまるための具体的な取組例」から取組を選択し、そろえて実践した。

分科会	目指す ゴールの姿	ゴール(重点)にたどりつくための 具体的な手立て
低学年	根拠を大切にして かかわり合う姿	・問題文や叙述の音読や根拠に印 ・話し合いの目的や話型の提示 ・観点を明確にしたふりかえり・児童が交流の相手を自分で考えて選ぶ
中学年	複数の根拠を つなげて深める姿	・根拠を関連付けて思考するためのワークシートや資料の提示 ・ICTを活用して考えを共有し、交流相手や形態を児童が選択する ・めあてやゴールを児童と共有し、観点を明確にしたふりかえりを書く
高学年	子ども同士で かかわり合い 高め合う姿	・思考の流れが見える板書の工夫 ・教師の出番の精選 ・既習を根拠に思考するための工夫 ・子どもが話したくなる問題場面の設定

2 取組の検証

(1) 教員・児童アンケート結果による検証（学校評価アンケート肯定的評価の割合）

	アンケート項目	後期(前期)
教員	①めあてを児童と共有し自身の変容や分かったことをふり返りに書くように指導している	94.5%(83.3%)
児童	①できるようになったことや分かったことをふり返りに書いている	94.2%(95.4%)
教員	②次時のめあてをふり返りに書くように指導している	66.6%(61.1%)
児童	②次時のめあてをふり返りに書いている	73.9%(71.2%)

3 成果と課題（○：成果 ▲：課題）

- 根拠を大切にして読む力、根拠を示しながら話す力がついてきた。
- 交流を通して根拠をもとに思考する姿、友達の考えを取り入れる姿が多く見られた。
- 交流の場を多く設定し、かかわり合いの中で学ぶことができた。
- 授業のゴールや交流の目的を子ども達と共有し、子ども達自身が交流相手を選ぶなどして主体的にかかわり合う姿が見られた。
- ▲正確に読み取る力、分かりやすく論理立てて説明する力、文章を正しく書く力がまだ不十分である。
- ▲複数の根拠や友達の考えを関連付けて論理的に思考することが難しい。
- ▲必要感のある対話的交流で考えを深めることがまだ不十分である。
- ▲教科で必要な見方・考え方、つけたい資質・能力を具体的な手立てに落とし込む深い教材研究がまだ不十分である。
- ▲ふり返りに次時のめあてを書かせる取組の共通理解が難しかったため、実施状況に差が出てしまった。次のめあてを書いて効果的だった実践もみられたので、それを紹介するなど、さらに共通理解を図る必要があった。